

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

クマなく さんぽ



大田区

勝海舟ゆかりの地・大田区

蒸気軍艦・咸臨丸で渡米し、日本海軍の育成に努め、江戸城を無血開城に導いた勝海舟は、開明的な考えを持った幕末の幕臣として広く知られている人物です。海舟は、江戸無血開城前最後の会談に向かう途中に立ち寄った洗足池の風景を気に入り、明治時代に池の畔に別荘「洗足軒」を構えました。生前、この地を自らの埋葬の地と決めた海舟は、自らが構想した墓石の下に今も静かに眠っています。

旧清明文庫を海舟の記念館に

海舟没後の1933(昭和8)年、海舟の遺蹟保存と事蹟の顕彰を目的とした「清明文庫」が開館しました。清明文庫の建物は2000(平成12)年に国登録有形文化財となり、2012(平成24)年に大田区の所有となりました。竣工から90年の時を経たこの清明文庫が、昨年、海舟の功績や想いととも地域歴史を伝える「勝海舟記念館」としてオープンしました。

記念館の1階では、海舟が数多く残した言葉を映像と音声で紹介する「海舟ブレイン」、豊富な実物資料とともに海舟の一生を辿る「海舟クロニクル」、咸臨丸の航海をCG映像で体験できる「時の部屋」といった展示を行っています。2階では、当時の造りを復元した「講堂」「旧貴賓室」や、海舟の別荘「洗足軒」などのジオラマ、大型モニターを使った映像作品展示などを観ることができます。

洗足池から海舟に想いを馳せる

海舟の功績や人となりを深く知ることのできる資料展示はもちろんのこと、西洋の建築技法を取り入れた旧清明文庫の建物もまた必見です。外観正面にあるネオゴシックスタイルの4本の柱型や、内部のアール・デコ調の造作など、昭和初期としては最先端の建築でした。

資料展示と歴史的価値の高い建物を観た後は、洗足池公園にある勝海舟夫妻の墓所にも立ち寄ってみてください。墓所の隣には、無血開城への道とともに拓いた西郷隆盛を悼み、海舟が南葛飾郡木下川に建立した「南洲留魂詩碑」も移築されています。海舟が愛した洗足池の風景を観てゆかりの地を巡ることで、勝海舟という人物をより身近に感じることができるかもしれません。

勝海舟が愛した洗足池の地に 全国初の勝海舟記念館が誕生 「大田区立勝海舟記念館」

昨年9月、国登録有形文化財である「旧清明文庫」を増改築し、全国初の勝海舟記念館として開館しました。勝海舟の功績や大田区との縁を紹介するとともに、海舟の想いと地域の歴史を伝えます。



旧清明文庫をリニューアルした外観



別荘「洗足軒」のジオラマ



地球儀を回し操作する「海舟ブレイン」



咸臨丸の航海を紹介する「時の部屋」



↑ 海舟が愛した洗足池

海舟夫妻の墓所→



年に4回(予定)、企画展を開催しています。

テーマ「海舟が見た19世紀の日本と国際社会」

1月16日(木)～4月26日(日)

長崎海軍伝習所の生徒が記したノートや、文久遣欧使節団の写真など、幕末日本と海外とのつながりを伝える貴重な資料の数々を展覧します。

大田区立 勝海舟記念館

所在地 大田区南千束2-3-1

開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日

入館料 一般300円、小中学生100円、

団体(20名以上)一般240円、小中学生80円、

身体障害者手帳をお持ちの方及び付添の方1名無料

アクセス 東急池上線洗足池駅より徒歩6分

お問合わせ 03-6425-7608

